

離任挨拶

高橋（野坂）実鈴 特任助教

農国センターの先生方、研究員、学生、事務補佐員、技術補佐員の皆様には3年間大変お世話になり、誠にありがとうございました。農国センターに在籍していたことで、農学に関連した様々な研究分野にふれることができ、以前よりも視野が広がりました。この経験を生かして、今後も研究活動に励んでまいります。

皆様のご健勝と農国センターの益々のご発展をお祈り申し上げます。

“Integrate Counterparts through Collaboration on Agricultural Research & Education!”



略歴 2006年名古屋大学農学部卒業、2008年同大学大学院生命農学研究科博士前期課程修了、2012年同研究科博士後期課程満期退学、2013年博士（農学）（名古屋大学）取得。2014年名古屋大学大学院生命農学研究科特任助教を経て、2017年3月より国立遺伝学研究所助教

鮫島啓彰 研究機関研究員

私は2015年4月から2年間、研究機関研究員として農国センターに勤務いたしました。農国センターの様々な分野の先生方・研究員の皆様・学生さん達からは日々刺激を、職員の皆様からは多大なサポートをいただきましたことを心よりお礼いたします。勤務中は、地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）「テラーメード育種と栽培技術開発のための稲作研究プロジェクト」において、ケニア国ムエアのケニア農畜産業研究機構に長期滞在しながら現地環境での様々な圃場試験に携わる機会をいただき、アフリカの稲作についての理解を深めることができました。この貴重な経験を生かして、今後も研究を進めていきたいと考えております。



略歴 1973年生まれ。1997年北海道大学農学部卒業、2004年同大学博士後期課程単位取得退学、同年6月博士（農学）取得。国際農林水産業研究センター特別派遣研究員、神戸大学学術推進研究員、名古屋大学研究機関研究員などを経て、2017年4月より神戸大学学術研究員。

永井直子 研究員

2015年4月から2017年3月までの2年間、研究員として所属させていただき、また同期間はカンボジアで実施中のJICA草の根技術協力事業プロジェクト「カンボジアにおける農産物・加工品安全性向上プロジェクト」の現地調整員としてカンボジアに赴任いたしました。主な活動内容としては、現地カウンターパートのカンボジア王立農業大学の卒業生であるスタッフと共に、現地農家さんの酒造や野菜栽培に関する安全性や生産性が向上するよう研修活動を行いました。

このプロジェクトでの経験を活かし、今後も国際農業開発の分野において、日本の知見が途上国のニーズに合致し課題解決に繋がっていきけるよう努めていきたいと思っております。



略歴 2003年東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科卒業。2005年United Nations Centre for Alleviation of Poverty through Sustainable Agricultureインターンシップ終了。2005-2012年インドネシアにて日系民間企業勤務。2014年University of East Anglia MA Agriculture and Rural Development修了。2015-2017年上述プロジェクトに従事。2017年4月より開発コンサルタント会社に所属。